

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価に関する意見書



令和7年9月

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	事務事業評価（外部評価）について	2
	（1）事務事業評価（外部評価）とは	2
	（2）事務事業評価の流れ	2
	（3）評価の視点及び項目	2
	（4）外部評価結果の活用	3
3	外部評価を実施した事業	3
4	評価結果 —対象事業「移住・定住促進事業」—	4
	（1）対象事業の概要	4
	（2）内部評価	5
5	おわりに	8

1 はじめに

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した取組を継続的に推進していくため、町の人口減少対策の方針として令和3年2月に策定されたものである。

総合戦略では、展望人口である令和42年の総人口32,361人を実現するため、4つの基本目標と、目標の達成に向けて具体的に取り組む施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定し、進捗状況の把握を行うとともに、実施した事業の効果を検証し改善を行うことで、より効果的な対策の実施につなげることとしている。

このため、まち・ひと・しごと創生有識者会議委員による外部評価を行い、客観的に事務事業の実績及び効果を評価・検証することで、より一層、結果を重視した事業の推進を図ることを目的としている。

この評価結果については、町長をはじめ、町職員の皆さんが意見及び提言内容を十分参考にし、今後の事業実施に当たっていただくよう、要望するものである。

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議
会 長 菊地 信一

2 事務事業評価（外部評価）について

（１）事務事業評価（外部評価）とは

事務事業評価（外部評価）とは、事業の成果を行政内部のみではなく、広く公開して、住民への説明責任を果たすとともに、その意見を取り入れ、今後の行政運営の参考とする仕組みであり、住民の視点に立った、目的及び成果を重視する行政運営を目指している。

○ 計画 — 実施 — 評価 — 改善 のマネジメントサイクルの確立

PLAN（計画）
⇒ DO（実施）
⇒ CHECK（評価）
⇒ ACTION（改善）

（２）事務事業評価の流れ

① 第１次評価（内部評価－担当課長）

各担当課が所管する事業について、担当課長が評価をする。

② 第２次評価（内部評価－町長）

第１次評価結果（担当課長評価）について、創生総合戦略の進行管理を担当する総合政策課が集計した後、町長が評価をする。

③ 第３次評価（外部評価）

行政評価に住民の意見を反映するため、外部評価として、まち・ひと・しごと創生有識者会議委員により、創生総合戦略に掲げられた各事務事業の中から対象事業を選定し、評価をする。

（３）評価の視点及び項目

「杉戸町人口ビジョン及び杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の４つの基本目標における数値目標に対し、これまで実施してきた施策・事業が実績として表れているか、目標に近づいているか等を確認し、重要業績評価指標（KPI）の達成状況を踏まえて、人口減少対策への効果について評価をする。

事業の評価（視点）	評価項目	
人口減少対策に効果があるか	A	非常に効果がある
	B	効果が一定程度ある
	C	効果が不十分である

(4) 外部評価結果の活用

評価結果については、庁内全体に共有し、必要に応じて、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び見直しを行い、事業改善を図ることを要望する。

3 外部評価を実施した事業

まち・ひと・しごと創生総合戦略の目的は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としていることから、今年度においては下記事業を選定した。

【第2期総合戦略 基本目標】

基本目標2「杉戸町への新しいひとの流れをつくる」

施策	評価対象事業	担当課
(5) 移住・定住の促進	移住・定住促進事業	総合政策課

4 評価結果 ―対象事業「移住・定住促進事業」―

(1) 対象事業の概要

個別事業名	移住・定住促進事業
基本目標	2 杉戸町への新しいひとの流れをつくる
施策	(5)移住・定住の促進

事業概要	選ばれる町・住み続けたい町となるよう、転入による移住者や町内転居による定住者の増加に向けたプロモーションを実施する。
事業効果	少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、子育て世代や若い世代の増加により、町の活性化や地域の担い手不足の解消を図る。

R6計画				
実施内容	○子育て世帯移住・定住促進奨励金の交付 ○移住・定住PR冊子の発行 ○移住イベント等でのPR ○シティプロモーション特設サイトでのPR			
予算額 (千円)	総事業費			22,099
	財源内訳	国庫補助		0
		県補助		1,049
		地方債		0
		その他		0
		一般財源		21,050

R6実績				
実施内容	①子育て世帯移住・定住促進奨励金の交付 町外からの転入55世帯・181人、町内での転居18世帯・69人、合計73世帯・250人(大人144人、子ども106人)に対して、奨励金1,760万円を助成し、年少人口の増加に寄与した。 ②移住・定住PR冊子の発行 町内外の若い世代や子育て世代をターゲットに、町公式シティプロモーションサイト「スギトゴト」のブランドイメージ『このまちには「 」がある』を踏襲し、「何もない」と言われがちな杉戸町で「あるもの探し」により発見した魅力を発信する冊子を作成した。冊子は、より多くのターゲット層に手に取っていただけるように多彩な写真をメインにし、記事を町公式シティプロモーション特設サイト「スギトゴト」に掲載する方式をとって作成した。今後は冊子を用いて、移住定住のPRに取り組む。 <冊子発行にあたっての実施内容> ■移住者や地域で活動している人材へのインタビュー ■このまちには「 」があるツアーの実施 ■このまちには「 」があるアイテム(缶バッジ)の作成 ③移住イベント等でのPR 埼玉県及び東武鉄道が主催する埼玉県への移住PRイベント「おいで埼玉！」にブースを出展し、町のPRを実施した。 ④シティプロモーション特設サイトでのPR 移住・定住PR冊子と連動した記事の掲載を実施した。 ⑤その他 結婚・移住情報を紹介しているインターネットサイト「縁結び大学」にて、杉戸町の移住情報を掲載する。			
決算額 (千円)	総事業費			19,699
	財源内訳	国庫補助		0
		県補助		1,000
		地方債		0
		その他		0
		一般財源		18,699

関連する成果指標(KPI)	R6末実績	R7末目標
年少人口の転入超過数	38人	94人

(2) 内部評価

ア 担当課評価【第1次評価】

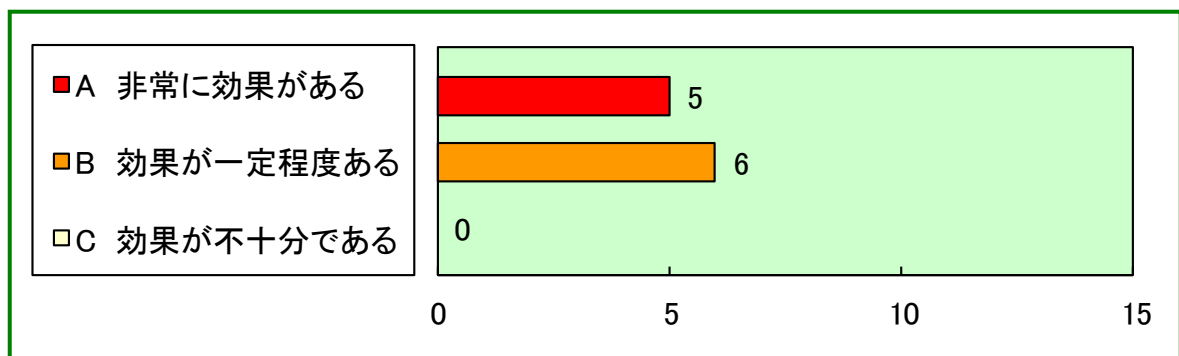
事業 の 評 価	評 価 項 目	評 価 の 理 由
	B人口減少対策として、一定程度の効果がある。	町の魅力を町内外に発信するため、町を知るツールとして冊子を作成し、今後の移住定住PR活動の基本資料を確立できた。また、当町へ移住定住した方への支援として子育て世帯移住・定住促進奨励金の交付を行い、人口の社会増や年少人口の増加を図ることができた。

イ 町長評価【第2次評価】

事業 の 評 価	評 価 項 目	コ メ ン ト
	2. おおむね順調である	「基本目標2 杉戸町への新しいひとの流れをつくる」の数値目標である「人口の社会増減」については、社会減を低くする目標に対して、毎年社会増となっている。 また、施策「(5) 移住・定住の促進」の成果指標(KPI)である「年少人口の転入超過数」については、目標値には達していないが毎年転入超過を維持している。 よって、移住・定住促進事業の成果が一定程度効果をあげており、おおむね順調であると評価できる。今後も移住・定住者への支援を行うとともに、PR冊子等を活用して町の魅力を町内外に発信し、町に関心を持つ人や町づくりにかかわってくれる人を増加させることで、新しい人の流れをつくるよう事業に取り組むこと。

ウ 外部評価 【第3次評価】

評価：人口減少対策に効果があるか



委員からのコメント

- 町にとって非常に大切な事業である。アイデアをたくさん出して、頑張って欲しい。
- 杉戸町の商業は、後継者がおらず、だんだん廃れ、寂しくなっている。この町に移住してくる人も大切だが、残って後継者になってくれる人はもっと大切だと思う。自然豊かで他には何もないけれど、災害もない豊かな町をPRして、人の移住・定住を進めて欲しい。
- これまでの杉戸町のために、これからの杉戸町のために、毎日ありがとうございます。移住定住PR冊子もとても魅力的でよいと思う。たくさんの人の手に取ってもらえると思う。高校生などに配布しているのも、そのまま杉戸に住み続けたいという気持ちにつながるので、とても良いと思う。
- 視覚に訴える良いプロモーション冊子を作成したと思う。定期的な内容のリニューアルや意見収集のプラットフォームも用意しており、さらなる内容の充実に期待する。
- 外から人を呼び込む発想も大切ですが、むしろ今いる人たちを杉戸町にとどめる施策は、さらに重要だと思う。
- 子育て世帯移住・定住促進奨励金やイベント、シティプロモーションサイトでのPR等は杉戸町独自の施策ではなく、他市町村でも行っている。その意味で他市町村を上回るような効果的な施策を新たに立てていくことが肝要である。その点、移住定住PR冊子の内容は、独自性がみられる。このような観点から、杉戸町の魅力発信政策をさらに考えていかなければならない。一方で、町内にいる小中高大学生の町外流出を防ぐ手立ても必要だと思う。
- 朝の情報番組で定期的に移住特集があり、最近では境町や逗子市が取り上げられていた。こうした全国版のメディアで取り上げられると、とても宣伝効果があると思う。
- 移住定住PR冊子は、とてもすばらしいと思う。より多くの県外の方（都内、千葉、神奈川など）に手にして欲しいと思う。

- 先日別の自治体で、インスタのストーリーで広告を出しているのを見かけた。内容が面白く思わず発信元のリンクをクリックしたが、こういった方法は杉戸町を知ってもらう機会になりやすいと思う。
- スギトゴトは、とてもよく仕上がっていると思う。地域の評価も高い。本冊子がよくできているので、3年後の2冊目のハードルが高くなるかもしれない。
- 奨励金の交付を知らない人が多いと思う。
- 各種イベント、スポーツ大会等での宣伝、流灯ふれあい館やアグリパーク等での常設広告看板などで、町外の方へのアピール機会を増やすのがよいと思う。
- 人口減少に歯止めがかからない現状の中で、これからは「人口減少対策」から、今、杉戸町に住んでいる方々が杉戸町を好きになって楽しく幸せに暮らしていける、定住対策にシフトしていくべきだと思う。そして、その町民の笑顔がおのずから移住への促進にもつながると思う。その観点からも「このまちで」の冊子は、町民に杉戸町を改めて知ってもらい、興味を持ってもらうために効果があると感じる。
- 移住・定住は、町の将来に向けてとても重要な施策で、そのプロモーションは要の事業といえる。
- アンケートや対面などで、情報や町民の意見を収集し、情報発信する。その様な中で、課題も浮かびあがってくることもあると思うので、町事業全般を横断的・俯瞰的にとらえ、関係部署と確認・調整を行いながら、町民にとって、より良い事業を展開していくことができると思う。

5 おわりに

第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、基本目標4つに共通する横断的な目標が設定され、基本目標の実現のため、社会・経済状況の変化に対応し、様々な人や技術を活用していくことを目指している。

そのため、実施した事業の効果や内容についても、多様な視点からのチェックを行い、より効果の高い事業を実施していくことが求められる。

今回、評価を行った移住・定住促進事業は、少子高齢化による人口減少に歯止めをかけ、子育て世代や若い世代の増加により、町の活性化や地域の担い手不足の解消を図ることが目的であり、人口減少対策として大変重要な事業であるため、各委員からもそれぞれの経験を踏まえた多種多様な意見が出された。

町が行った内部評価と異なる意見、考え方や評価については、今後の事業の実施に生かしていただきたいと考える。これらの意見が、今後の総合戦略に掲げる目標達成の一助となることを期待する。

杉戸町まち・ひと・しごと創生有識者会議委員名簿

1号委員（関係団体等を代表する者）7名（敬称略）

No	氏 名	備考
1	木村 三樹男	
2	松村 美知子	
3	板橋 昇	職務代理者
4	鈴木 豊	
5	宮野尾 政子	
6	横井 正樹	
7	谷藤 恵美	

2号委員（識見を有する者）5名

No	氏 名	備考
8	水野 順子	
9	中里 圭介	
10	佐々木 誠	
11	菊地 信一	会長
12	青木 恵理	

3号委員（まちづくりに関心の高い者）3名（公募）

No	氏 名	備考
13	新井 晃	
14	茂利 浩幸	
15	斉藤 智章	